

Welcome to ... Grant County!

第4号 グラント郡の仕事

Dec. 2020

発行 豊山町姉妹地域国際交流サポーター事務局（豊山町総務課）

豊山町の姉妹地域 米国ワシントン州グラント郡についてお知らせする「Welcome to... Grant County!」第4号では、グラント郡の仕事についてお伝えします。

＜グラント郡を支える農業＞

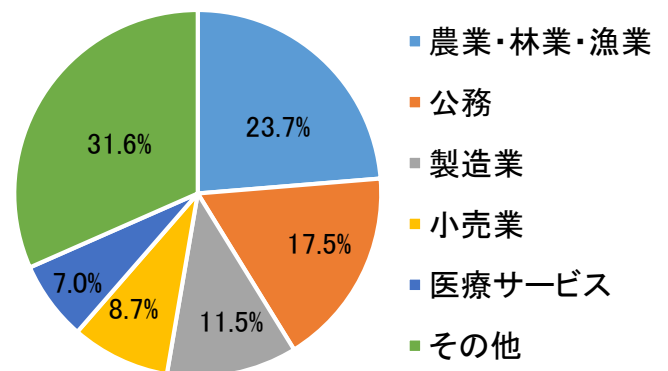
グラント郡では、農業・林業・漁業に従事している労働者が特に多いです。2019年のグラント郡内の労働者総数 39,886 人のうち、9,462 人を占めています。次に多いのが公務に従事する人で 6,984 人、続いて製造業が 4,591 人となります。さらに製造業のうち、44.3%は食品加工業であり、グラント郡の製造業における農業の重要性を強調しています。

主な農産物は、ジャガイモ、りんご、麦、大麦、人参、コーン、玉ねぎ、桃、サクランボなどです。農産物をそのまま現地の工場加工しています。

グラント郡は高速道路や貨物列車が繋がっているため、製造した食料品を簡単にシアトルやポートランド、シカゴにさえ輸送することができます。

(出典:「Employment Security Department」 <https://esd.wa.gov/labormarketinfo/county-profiles/grant>)

産業別労働者数の割合 (2019年)



<農業と移民>

Grant Countyでは、ヒスパニック系(主にメキシコ人)の人が人口の42.1%を占めています。農場で出稼ぎをするヒスパニック系が多いです。季節的にメキシコから来る人もたくさんいます。農場での仕事の作業量は季節によって偏りがあるため、例えば収穫の時期だけワシントン州にくるメキシコ人も多いです。りんごを収穫したり、桜の木を刈ったりします。

移民の法律が厳しくなると、ワシントン州の農場は困ります。メキシコから出稼ぎ労働者が来られない場合、人手が足りなくなり、りんごなどを収穫しきれなくなる可能性があります。

(出典:「The Seattle Times」)

<https://www.seattletimes.com/seattle-news/northwest/washington-farmers-tell-trump-we-need-more-foreign-workers/>



“Grant County ジャガイモ生産をリードする国家”



↑メキシコから来て、8か月間イースタン・ワシントンの農場で働く男性。桜の木を刈っています



↑ Grant Countyにあるクインシーという町の農民

<IT企業にとっても魅力的な場所>

Grant Countyを支えるのは農業ですが、電気代と土地代が安く、交通の便もいいことから、最近ではIT企業にとっても魅力的な場所となっているそうです。

アメリカのIT企業の多くは写真のような様子です。アメリカでは、ジーンズやTシャツを着てもいいほどカジュアルなオフィスもあります！多くの職場で、机でコーヒーなど飲んだり、お菓子を食べたりして大丈夫です。もちろん、スーツを着るべき仕事はまだありますが、特にワシントン州では、カジュアルな職場が多いです。写真のようなオフィスはテックカルチャーの発達したシアトルのようですが、このような会社がGrant Countyにもあるそうです。

